

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		結城南部第三土地区画整理事業						予算事業名		土地区画整理事業費			
予 算 科 目	会計	09	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	土地区画整理法				
			02	01	01	3001	政策経費		結城南部第三土地区画整理事業施行条例				
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業					
	2-2ゆとりある住みよいまちづくり(住環境)							重点事業					
	①良質な住宅地の整備						担当課係等	区画整理課					
	2新市街地の形成(南部地域)							計画係					
事業期間		継続(平成5年度～平成34年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
土地区画整理事業により、道路をはじめとする公共施設の整備を進め、生活環境の改善、地域の利便性及び防災性を高め、住宅の利用増進を図り、もって秩序ある健全な新市街地を形成する。							結城南部地区は、国道50号線を軸とした都市化により、道路等が未整備のまま宅地化が進行していた。そのため、道路等の計画的な整備、土地利用の増進、秩序ある健全な市街地形成をめざし事業を開始した。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
概ね下記の事業を行う。 ・調査設計(換地設計、補償調査等) ・支障物件移転補償(家屋、工作物等) ・工事(道路築造、道路舗装) ・上水道企業債利子負担金の支払い ・保留地処分							結城南部第三土地区画整理事業施行地区内居住者等。						
							【事業をとりまく環境の変化】 事業開始以降、バブル経済の崩壊など長引く景気の低迷や地価の下落により、保留地処分が進まない状況が続いていたが、保留地処分価格の改定や景気回復傾向などによりやや改善の兆しがみられるようになっている。 今後も更なる保留地処分により事業費の調達に努め、市の財政負担の軽減を図りながら、事業の進捗及び早期完了を目指していく。						
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】					
・調査設計(換地設計、補償調査等) ・支障物件移転補償(家屋、工作物等) ・工事(道路築造、道路舗装) ・上水道企業債利子負担金の支払い ・保留地処分				・調査設計(換地設計、補償調査等) ・支障物件移転補償(家屋、工作物等) ・工事(道路築造、道路舗装) ・上水道企業債利子負担金の支払い ・保留地処分				・調査設計(換地設計、補償調査等) ・支障物件移転補償(家屋、工作物等) ・工事(道路築造、道路舗装) ・上水道企業債利子負担金の支払い ・保留地処分					
■事業費													
				H29年度		H30年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	38,534	11,425						
	一		般	財	源	1,215	13,323						
歳入計(千円)				39,749		24,748							
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)							
	01	報酬		452		990							
	12	役務費		0		270							
	13	委託料		6,259		2,880							
	15	工事請負費		14,235		4,864							
	19	負担金補助及び交付金		1,215		2,744							
	22	補償補填及び賠償金		17,588		13,000							
歳出計(千円)(A)				39,749		24,748							
伸び率(%)						-37.73							
備 考	総合計画 75 ページ 予算書 319～321 ページ												

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	道路整備率(築造完了分)	%	目標	91.90	92.90	93.90
	道路を整備する			91.20	0.00	0.00
	保留地処分率(契約分)	%	目標	65.30	71.00	74.00
	保留地を販売する		実績	67.63	0.00	0.00
成果 指標	事業進捗率(事業費ベース)	%	目標	90.60	91.00	92.00
	事業を推進する			90.00	0.00	0.00
	結城南部地区内人口	人	目標	7,700.00	7,700.00	7,700.00
	区画整理による住環境整備により地区内人口増をめざす		実績	8,407.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	秩序ある健全な市街地形成の必要性は事業開始以降現在も変わらず、早期の事業完了が望まれている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公共施行により開始された事業であり、完了まで行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	市街地形成という目的に対しては、土地区画整理事業による区画形質の変更という面的な整備が最も効果のある手法である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	起債の償還が進んでいるため、コストが徐々に下がる傾向にあり、効率化につながっている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	土地区画整理事業施行地区内の居住者や公共施設利用者に対して、広く便益を提供している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	土地の区画を整え、道路などの公共施設を整備することにより、宅地の利用増進が図られ、良好な市街地が形成されつつある。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	事業開始から相当の期間が経過しているものの、それに応じた進捗が図られている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
道路をはじめとする公共施設の整備が進むなど、事業の進捗に応じて交通の利便性に優れた良好な住環境が整いつつあるが、事業開始以降相当の期間が経過しており、早期の事業完了が望まれている。 国の補助が終了したが、今後は保留地処分による事業費の調達に努め、市の財政負担を増やさないよう経費節減に努めつつ事業の早期完了を図っていく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
保留地情報の提供など定住化促進施策と連携した取り組みも視野に、引き続き保留地販売広報PRを実施し、保留地販売促進による財源確保に努める。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 今後も保留地販売促進PR等により事業財源の確保に努め、市の財政負担の軽減を図りながら計画的に事業を進めていく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	